

は か た し も う す い
国道3号 博多バイパス(下臼井～空港口)
第2回 説明資料

令和3年9月13日

国土交通省 九州地方整備局

本日、ご審議いただく内容

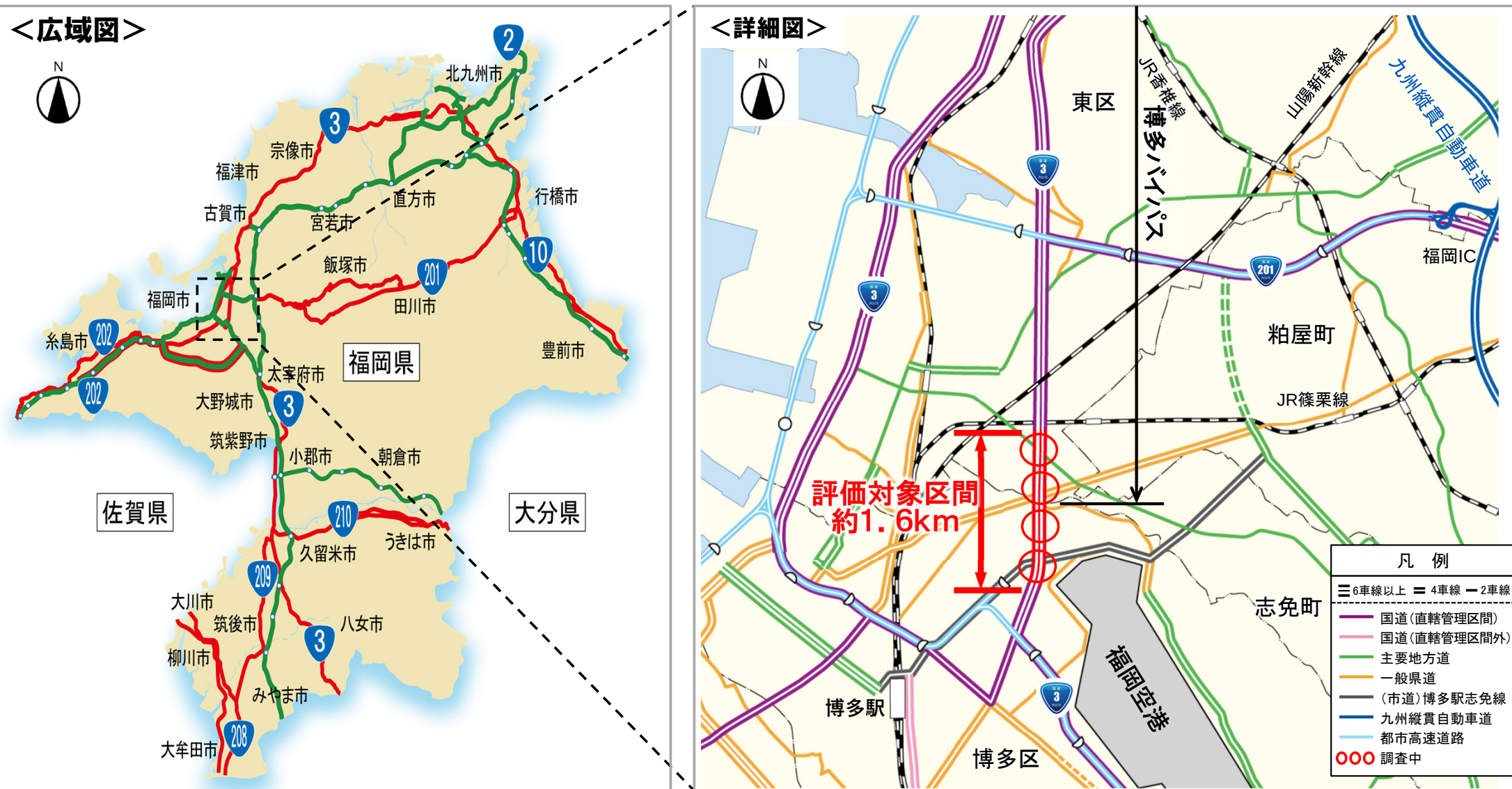
1. 前回までの審議内容	・ ・ ・	2
2. 意見聴取の概要	・ ・ ・	6
3. 意見聴取の結果	・ ・ ・	1 6
4. 対応方針（案）の検討	・ ・ ・	2 8
5. 自治体への意見照会	・ ・ ・	3 2
6. 対応方針（案）のまとめ	・ ・ ・	3 4

1. 前回までの審議内容

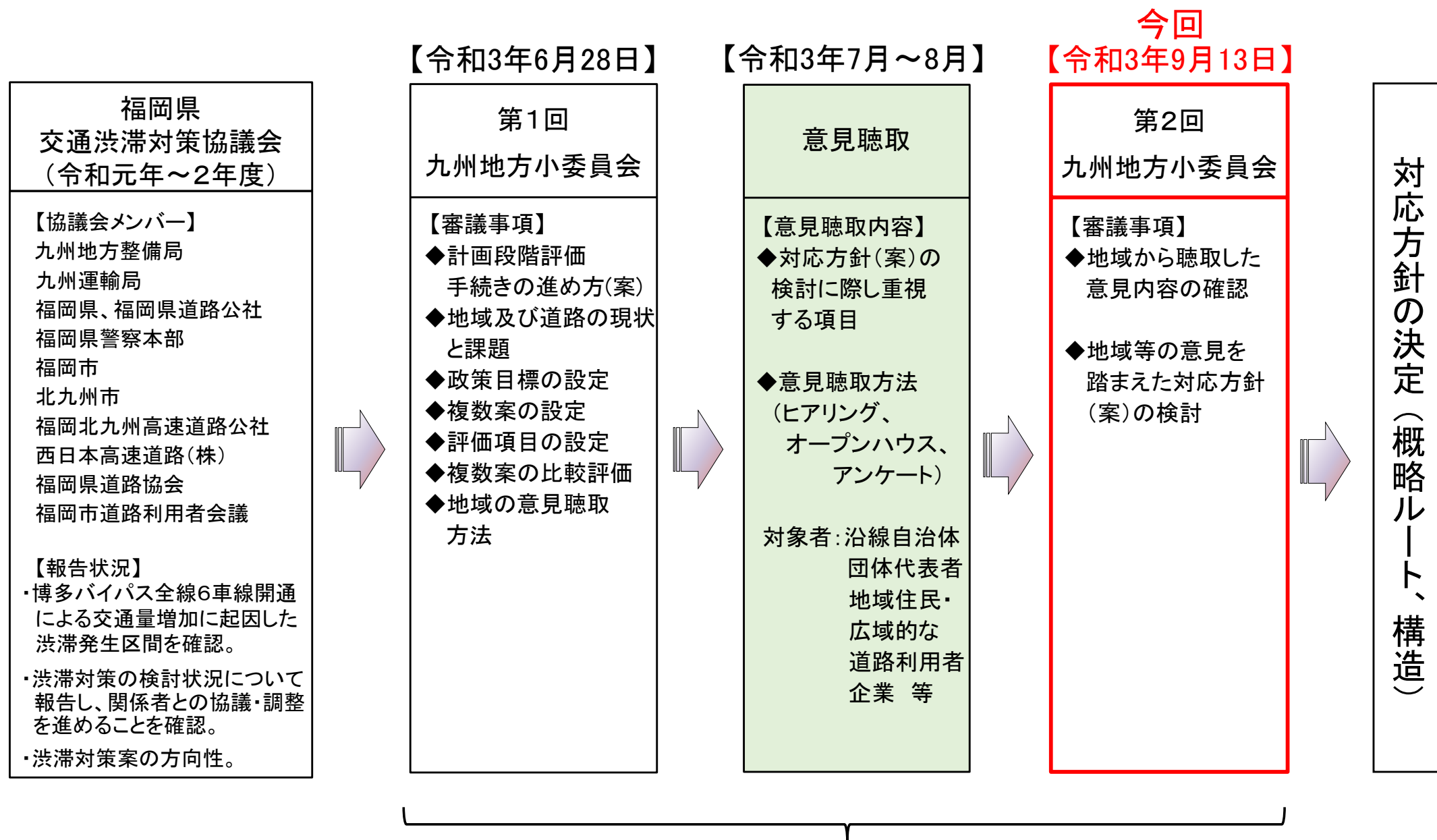
1-1. 評価対象区間

■ 国道3号博多バイパスは福岡空港などの広域交通拠点への円滑なアクセス及び国道3号の渋滞緩和を目的とした約7.7kmの道路。

■ 評価対象区間は博多バイパス区間の南側を含めた箇所位置する約1.6kmの区間。



1-2. 計画段階評価手続きの進め方(案)



1-3. 前回審議内容

●九州地方小委員会(1回目)の概要

■実施日：令和3年6月28日（月）	
■主な議題	
①計画段階評価区間	②計画段階評価手続きの進め方（案）
③地域及び道路の現状と課題	④政策目標の設定
⑤複数の対策案の検討	⑥意見聴取方法（案）について

●九州地方小委員会(1回目)での主な指摘事項と対応方針

指摘事項	対応方針
・ 住民アンケート等における意見聴取については、一般の方でも各対策案の構造・通行方法の違いが伝わるように工夫して頂きたい。	・ 一般の方でも各対策案の構造、通行方法等が容易に理解できるよう3Dモデル図やイメージ模型を作成した。 【該当箇所：P11, 12】
・ 物流関連企業ヒアリングについては、利用実態等を把握するなど、的確な意見聴取ができるように工夫して頂きたい。	・ 空港口交差点を通過する貨物車の社名読取り調査とETC2.0プローブデータ解析をもとに、評価対象区間を実際に利用する企業の中から、特に高付加価値品目や生鮮品を配送している企業を抽出し、ヒアリングを行った。 ・ ヒアリングでは、評価対象区間を利用する物流の目的地、輸送品目などの利用実態や利用する際の問題が事業活動に及ぼす影響について具体的な聞き取りを行った。 【該当箇所：P26】

2. 意見聴取の概要

2-1. 意見聴取の概要

■博多バイパス(下臼井^{しもうすい}～空港口)に関する自治体・各種団体・企業へのヒアリング、地域住民・広域的な道路利用者へアンケート等による意見聴取を実施。

■意見聴取期間

令和3年7月5日(月)～令和3年8月13日(金)

■意見聴取の実施状況

対象	意見聴取方法	実施期間	対象の詳細	回収状況	
自治体	ヒアリング	令和3年7月12日(月) ～令和3年8月13日(金)	福岡市	1自治体	
団体等			トラック協会、バス協会、商工会議所、観光協会 など	8団体	全44票
企業			製造業、運輸・郵便業、卸売・小売業、宿泊・飲食サービス業、医療・福祉、タクシー事業者 など	36社	
地域住民・ 広域的な 道路利用者	アンケート	令和3年7月5日(月) ～令和3年8月6日(金)	福岡市東区 :約6,000人 福岡市博多区:約5,000人※18歳以上、無作為抽出、郵送配布 QRコードおよびHP等からの回答	2,920票 〔ハガキ 1,907票 WEB 1,013票〕	全4,390票
	オープンハウス	令和3年7月27日(火) 令和3年7月31日(土)	イオン福岡東ショッピングセンター イオンモール香椎浜	179票	
	留置き	令和3年7月5日(月) ～令和3年8月6日(金)	福岡空港、博多港 など 九州自動車道休憩施設(古賀SA、広川SA)	191票 〔投函 8票 WEB 183票〕	
	Webモニター調査	令和3年7月5日(月) ～令和3年8月6日(金)	評価対象区間を利用する沿線地域(東区/博多区)を除く福岡地域の住民	1,100票	

2-1. 意見聴取の概要

■ 質問内容

・アンケート調査では、地域の課題や構造案を検討する際に重視すべき項目、その他の考慮すべき項目等を聞き取るための内容を設定した。

質問1: 国道3号博多バイパス(下臼井～空港口)の利用状況についてお尋ねします。該当する番号に○を付けてください。

利用頻度: 1. ほぼ毎日、2. 週に数回程度、3. 月に数回程度、4. ほぼ利用しない、5. 利用したことがない

利用目的: 1. 通勤・通学、2. 買い物、3. 観光・レジャー、4. 通院、5. 業務、6. その他、7. 利用しない

移動手段: 1. 自動車、2. バス、3. バイク、4. 自転車、5. その他、6. 利用しない

質問2: 国道3号博多バイパス(下臼井～空港口)の道路にはどのような交通課題があると思いますか。次の①～④の課題項目それぞれについて、4段階評価してください。

※4段階評価(1. そう思う 2. ややそう思う 3. あまりそう思わない 4. そう思わない)

- ① 交通渋滞が発生し、日常生活の移動に支障を感じる
- ② 交通事故が多く安全性が低いと感じる
- ③ 効率的な物流活動を阻害していると感じる
- ④ 救急搬送時、患者への負担を増大させていると感じる

政策目標の妥当性を確認

第1回地方小委員会で設定した政策目標

- 1. 適切な機能分担による交通環境(渋滞)の改善
- 2. 走行性の向上による交通安全の確保
- 3. 速達性・定時性の向上による物流活動の支援
- 4. 速達性向上による救急医療活動の支援

質問3: この地域にとって、望ましい構造案を検討する際に重要だと思うことは何ですか。次の①～⑪の課題項目それぞれについて、4段階評価してください。

※4段階評価(1. 特に重視すべき 2. やや重視すべき 3. あまり重視すべきではない 4. 重視すべきではない)

- | | |
|-------------------------------------|-----------------------------------|
| ① 評価対象区間の渋滞が改善すること | ⑥ 救急搬送の時間が短くなること |
| ② 「下臼井・新二又瀬橋・空港口」交差点の渋滞
が改善すること | ⑦ 道路整備に伴う沿道や家屋等への影響が小さいこと |
| ③ 交通事故が少なくなり、走行する際の安全性
が向上すること | ⑧ 騒音の影響が小さいこと |
| ④ 目的地への到着時間が読み易くなること | ⑨ 周囲の景観への配慮がなされていること |
| ⑤ 市内の各拠点(博多駅方面や福岡空港等)への
利用ができること | ⑩ 工事中の影響が小さいこと(開通までの時期
が早いこと等) |
| | ⑪ 道路をつくる費用が安いこと |

構造検討に際し、「重視すべき内容」を確認

質問4: 他に考慮すべき事項や今後の道路整備についてのご意見等がありましたらご自由に記載ください。

上記以外の、「考慮すべき内容」を確認

2-2. 意見聴取の実施状況 ～団体・企業ヒアリング～



【製造業：福岡市東区】



【運輸：福岡市博多区】



【団体（消防）：福岡市博多区】



【団体（観光）：福岡市中央区】

■対象

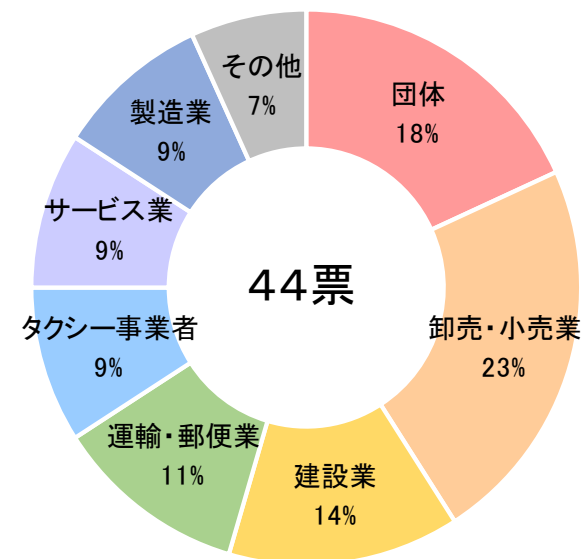
自治体：1自治体

団体等：8団体

企業：36社

全：45票

■ヒアリング実施団体・企業の内訳



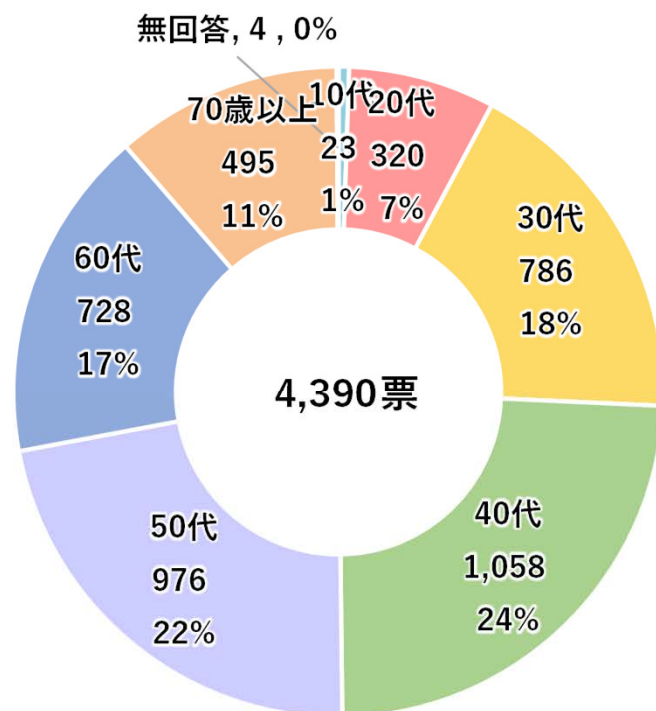
※四捨五入の関係で合計が100%にならない場合がある

2-3. 意見聴取の実施状況 ～地域住民・広域的な道路利用者の回答者属性～

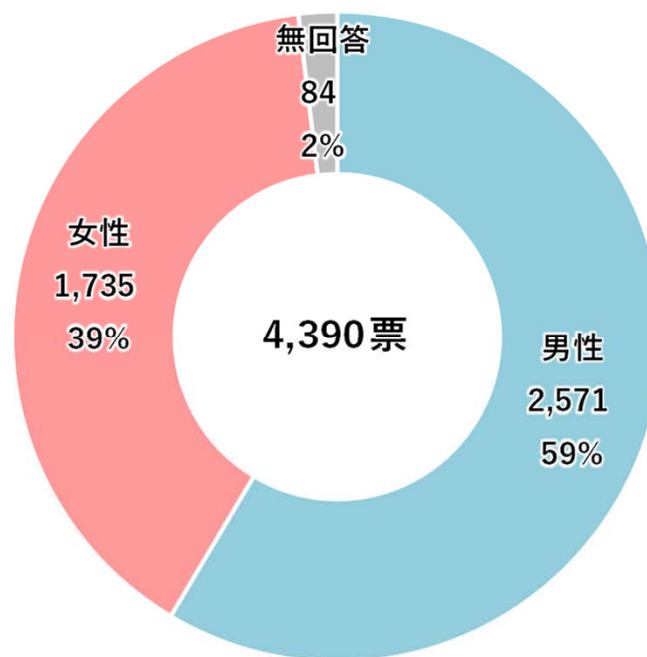
■ 地域住民・広域的な道路利用者4,390人から意見聴取を実施した。

■ 回答者の内訳

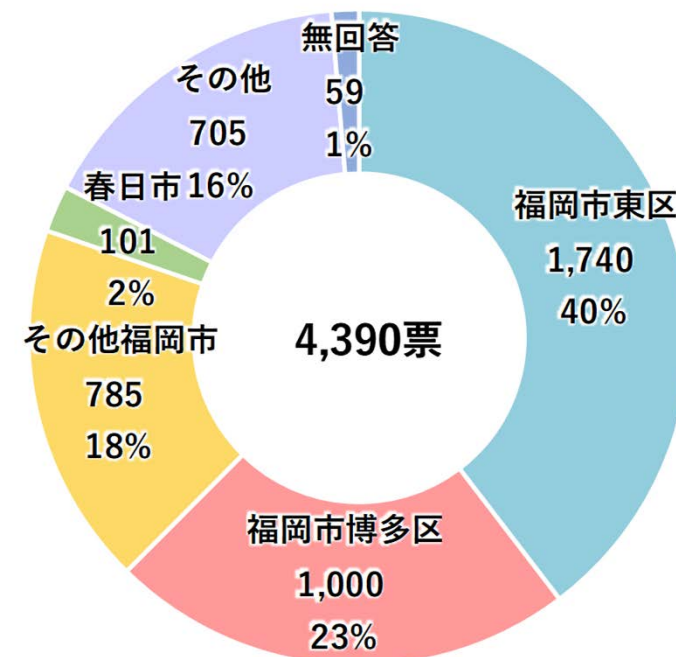
【年代】



【性別】



【居住地】



※四捨五入の関係で合計が100%にならない場合がある

2-3. 意見聴取の実施状況 ～住民アンケート～

■住民アンケート実施内容

対象	地域住民
配布地域、配布数	福岡市東区 6,000戸 福岡市博多区 5,000戸 QRコードおよびHP等からの回答
意見聴取数	2,920票(うちWEB:1,013票)

【アンケートシート(返信用はがき)】

〒812-8790

福岡市東区名高3丁目24-10

国道3号 博多バイパス(下日井～空港口)

計画段階評価 事務局 行

(国土交通省九州地方整備局福岡国道事務所)

国道3号 博多バイパス(下日井～空港口)の道路計画に関するアンケート調査

調査資料一式在中

国土地交通省九州地方整備局福岡国道事務所(協力) 福岡市

福岡国道事務所 計画課

〒812-8790 福岡市東区名高3丁目24-10

TEL: 092-682-7747(直通)

TEL: 092-682-7747(直通)

TEL: 092-682-7747(直通)

ホームページ: <http://www.qpr.mhl.go.jp/fukuoka/>

国土地交通省九州地方整備局福岡国道事務所(協力) 福岡市

福岡国道事務所 計画課

〒812-8790 福岡市東区名高3丁目24-10

TEL: 092-682-7747(直通)

TEL: 092-682-7747(直通)

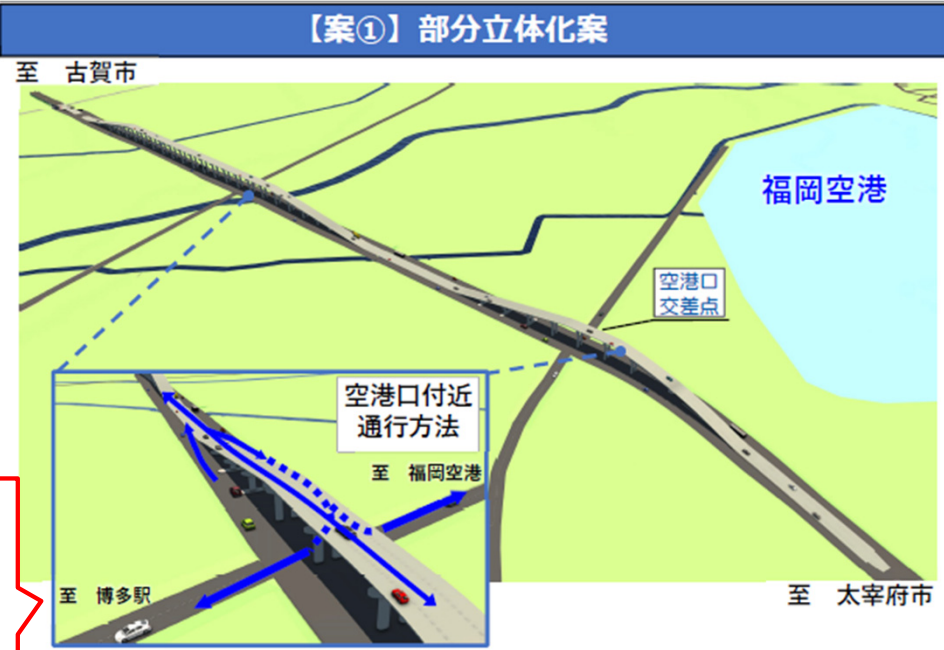
TEL: 092-682-7747(直通)

ホームページ: <http://www.qpr.mhl.go.jp/fukuoka/>

【配布セット一式】



各対策案の構造、通行方法
が伝わるよう、各案の
3Dモデルイメージをアン
ケート用紙と同封して提示



2-3. 意見聴取の実施状況 ～オープンハウス～

■オープンハウス実施状況

対象	地域住民
会場	①イオン福岡東ショッピングセンター …実施 ②イオンモール香椎浜 …実施 ③ランチ博多パピヨンガーデン …中止
意見聴取数	179票
期間	①令和3年7月27日(火)…実施 ②令和3年7月31日(土)…実施 ③令和3年8月 4日(水)…中止

※8月4日開催予定のオープンハウスについては、まん延防止等重点措置により中止
 その他期間のオープンハウスについては実施

【会場】

イオンモール香椎浜



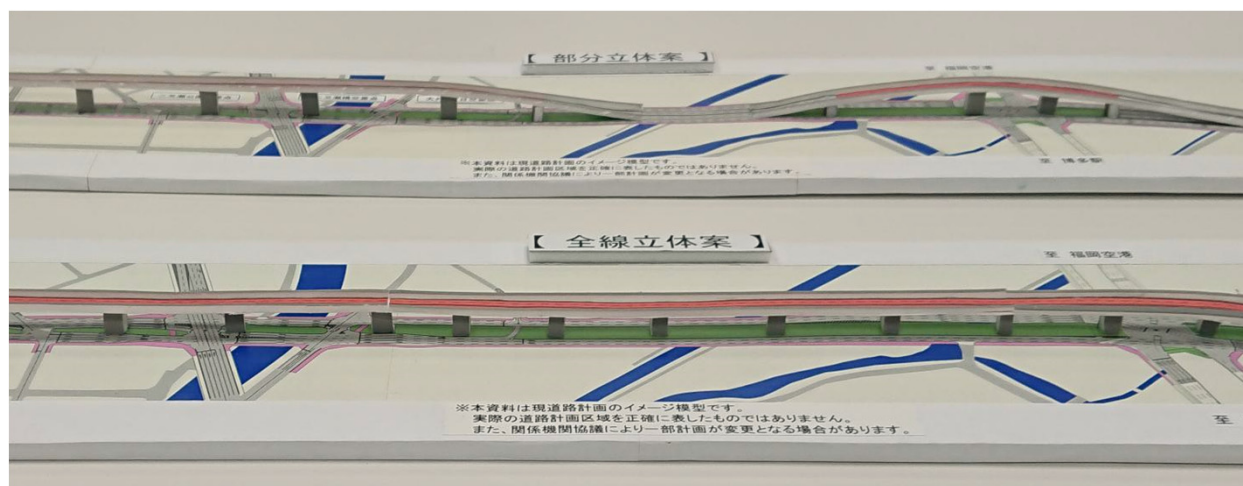
<平日>【イオン福岡東ショッピングセンター 令和3年7月27日実施】



<休日>【イオンモール香椎浜 令和3年7月31日実施】



一般の方でも各対策案の構造や通行方法の違いが伝わるよう、イメージ模型を作成し、オープンハウスで活用



2-3. 意見聴取の実施状況 ～留置き～

■ 留置きアンケートの設置

対象	広域的な道路利用者
設置箇所	福岡空港 博多港 古賀SA 広川SA
意見聴取数	191票(うちWEB:183票)

【設置箇所】



【留置き】



【ポスター】

道路計画に関するご意見をお聞かせください

はかた
国道3号 博多バイパス
しもうすい くうこうぐち
(下臼井～空港口) について

地域の皆様のご意見を伺います

質問内容 国道3号博多バイパス(下臼井～空港口)の周辺地域について、地域の皆様
が日ごろから感じられている道路交通面での課題や対策案(構造)の比較・検
討に際しての重視すべき項目・配慮すべき項目

調査回答方法 本調査は、国道3号博多バイパス(下臼井～空港口)の周辺地域にお住まい
の方に送付する返信用はがき、市役所・町役場等に設置する調査票・はがき等
で回答いただけます。



お問い合わせ先

国土交通省 九州地方整備局
福岡国道事務所 計画課

〒813-0043 福岡県福岡市東区名島3丁目24-10
電話: (092) 682-7747
ホームページ: <http://www.qsr.mlit.go.jp/fukukoku/>

2-3. 意見聴取の実施状況 ～WEBアンケート～

■WEBアンケート調査の実施

【地域住民・広域的な道路利用者用】

国道3号博多バイパス（下臼井～空港口区間）の道路計画に関するアンケート調査

※アンケート回答中にブラウザの「戻る」「更新」ボタンをクリックすると、このページの回答内容がクリアされますのでご注意ください。

進捗 0%

必須 本アンケート調査は、国道3号博多バイパス（下臼井～空港口）の計画にあたり、皆様の生活に役立つ道路となるよう、皆様のご意見をお聞かせ頂くために実施するものです。国道3号博多バイパス（下臼井～空港口）周辺地域における、皆様が日々感じられている、道路交通面での課題や、地域に求められる道路の役割、対策案（構造）の比較・検討に際しての重視すべき項目・配慮すべき項目等について、ご意見を伺うものです。ご協力のほどお願い申し上げます。ご回答いただいた内容は、国土交通省 九州地方整備局 福岡国道事務所にて集計を行います。

※【画像を拡大】をクリックしていただくと拡大してご覧いただけます。

道路計画に関するご意見をお聞かせください

国道3号 博多バイパス
(下臼井～空港口) について
地域の皆様のご意見を伺います

質問内容 国道3号博多バイパス（下臼井～空港口）の周辺地域について、地域の皆様が目撃から感じられている道路交通面での課題や対策案（構造）の比較・検討に際しての重視すべき項目・配慮すべき項目

調査回答方法 本調査は、国道3号博多バイパス（下臼井～空港口）の周辺地域にお住まいの方に送付する返信用はがき、市役所・町役場等に設置する調査票・はがき等で回答いただけます。

<広域図> <詳細図>

お問い合わせ先
国土交通省 九州地方整備局
福岡国道事務所 計画課
〒813-0043 福岡県福岡市東区名島3丁目24-10
電話：(092) 682-7747
ホームページ：http://www.qsr.mlit.go.jp/fukukoku/

【WEBアンケート開始画面】

国道3号博多バイパス（下臼井～空港口区間）の道路計画に関するアンケート調査

推奨環境

【PC】
OS：Windows 8.1以上
ブラウザ：Internet Explorer 11、Edge、Google Chrome 最新版

【スマートフォン、タブレット】
OS：iOS 14以上
ブラウザ：Safari

OS：Android 8.0以上
ブラウザ：Google Chrome

アンケート開始

【WEBアンケート回答画面】

	1. 特に重視すべき	2. やや重視すべき	3. あまり重視すべきではない	4. 重視すべきでない
1. 評価対象区間の渋滞が改善すること	☐	☐	☐	☐
2. 「下臼井・新二又瀬橋・空港口」交差点の渋滞が改善すること	☐	☐	☐	☐
3. 交通事故が少なくなり、走行する際の安全性が向上すること	☐	☐	☐	☐

■実施にあたっての工夫

● スマートフォン・タブレット・PC対応

● 1人1回までの回答制限を設定

2-4. 意見聴取の実施状況 ～広報～

- ①ホームページ：福岡国道事務所ホームページに意見聴取のページ(記者発表)を開設
- ②広報ポスター：福岡市東区・博多区の区役所、福岡国道事務所・出張所にポスターを配布
- ③地域への情報提供：福岡市の地域広報誌、福岡国道事務所公式ツイッターへの情報掲載

【①ホームページ】



【②広報ポスター】

国道3号博多バイパス(下臼井～空港口)
道路交通や地域の課題について
みなさまのご意見をお聞かせください

Web 回答も受付中!

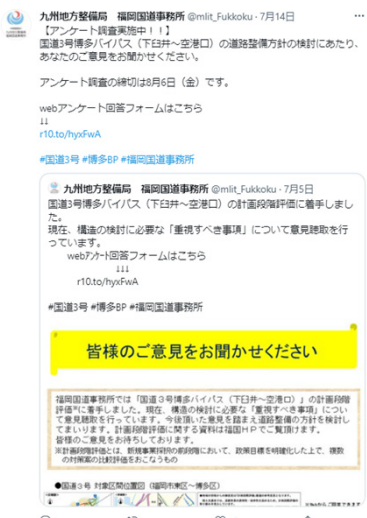
オープンハウスを開催します
国道3号博多バイパス(下臼井～空港口)の道路整備の計画検討を進めるにあたり、下記の日時・場所においてパネルの展示と合わせスタッフが説明を行います。
「道路交通や地域の課題」等にご様のご意見をお聞かせ下さい。

【③地域への情報提供】

＜福岡市政だより＞



＜福岡国道事務所
公式ツイッター＞



意見募集

国道3号博多バイパス(下臼井～空港口)における道路計画について

道路整備の計画・検討を進めるにあたり、下臼井交差点(東区)～空港口交差点(博多区)間の課題等の意見を募集します。詳細はホームページを確認するか問い合わせを。【募集期間】8月6日まで福岡国道事務所計画課 ☎681-4731 ☎682-7760

開催時間 平日 10:00～16:00
休日 10:00～16:00
どなたでも参加いただけます。お気軽にお越しください。

イオン福岡東ショッピングセンター イオンモール香椎浜 プランチ博多パピオンガーデン

7月27日(火) 7月31日(土) 8月4日(水)

※Web 回答も実施しています。会場にお越し頂けない方はぜひアクセスしてください。
令和3年8月6日(金)までに回答をお願いします。

A URL をアドレスバーに入力 B QRコードからアクセス

https://r10.to/hyxFWA

荒天が予想される場合は延期とし、前日の17時までに福岡国道事務所ホームページでお知らせします。

国土交通省 九州地方整備局 福岡国道事務所 (協力) 福岡市

＜お問い合わせ先＞ 計画課 TEL:092-681-4731(代表) 〒813-0043 福岡県福岡市東区名島3丁目24-10 http://www.qsr.mlit.go.jp/fukukoku/

※8月4日開催予定のオープンハウスについては、まん延防止等重点措置により中止

3. 意見聴取の結果

3-1. 意見聴取の結果（地域の現状と課題） <アンケート>

- 対象区間の交通課題については、全項目で、半数以上が課題と考えていることが確認できた。
- 「①交通渋滞による日常生活の移動への支障」が約8割と最も多く、次いで「③効率的な物流活動を阻害」「④救急搬送時の患者負担の増大」の2項目についても、約7割の方が課題と考えていることが確認できた。
- 対象者別割合では、交通課題への大きな傾向の違いはない。

【質問】 国道3号博多バイパス(下臼井～空港口)の道路にはどのような交通課題があると思いますか。次の①～④の課題項目それぞれについて、4段階評価(1.そう思う 2.ややそう思う 3.あまりそう思わない 4.そう思わない)してください。

【地域住民・広域的な道路利用者・団体・企業】n=4,434

■ そう思う ■ ややそう思う ■ あまりそう思わない ■ そう思わない ■ 無回答

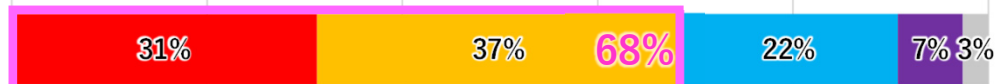
①交通渋滞が発生し、日常生活の移動に支障を感じる



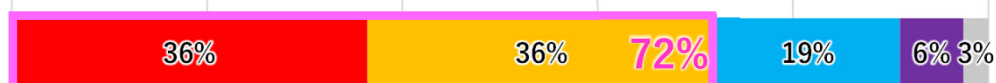
②交通事故が多く安全性が低いと感じる



③効率的な物流活動を阻害していると感じる



④救急搬送時、患者への負担を増大させていると感じる



○%: 交通課題として認識している割合

【対象者別割合】

【地域住民・広域的な道路利用者】n=4,390

【団体・企業】n=44

0% 20% 40% 60% 80% 100%

0% 20% 40% 60% 80% 100%

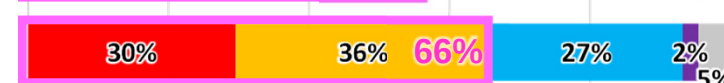
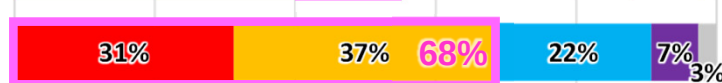
①交通渋滞が発生し、日常生活の移動に支障を感じる



②交通事故が多く安全性が低いと感じる



③効率的な物流活動を阻害していると感じる



④救急搬送時、患者への負担を増大させていると感じる



※四捨五入の関係で合計が100%にならない場合がある

3-1. 意見聴取の結果（地域の現状と課題） <ヒアリング>

- 「交通渋滞による日常生活への支障」「交通事故による安全性の低さ」「物流活動の阻害」「救急搬送時の患者負担」は様々な機関の共通の課題認識であった。
- 「渋滞による物流活動の阻害」について、商工会議所やトラック協会からの意見があった。
- また、「信号交差点の多さに伴う患者負担の増大」について、消防署からの意見があった。

■各種団体・自治体（福岡市）へのヒアリング結果（主な意見）

交通課題	ヒアリング結果
①交通渋滞が発生し、日常生活の移動に支障を感じる	・朝（7:30～8:30）下臼井→空港口方面は他の時間帯に比べ倍以上の所要時間がかかっている。（団体：バス協会） ・区間内に<u>主要渋滞箇所</u>に指定された交差点が3箇所あり、特に朝夕の通勤通学時間帯において著しい渋滞が発生しているため、周辺地域住民からも対策を求める声が上がっているなど、市民の日常生活の移動に支障が生じている。（福岡市）
②交通事故が多く安全性が低いと感じる	・渋滞を避けて細い道に流入するトラックについて危険だという声はあがっている。（団体：トラック協会） ・区間内においては交通事故が多く、平成29年に新二又瀬橋交差点の人身事故件数が全国ワースト1位（日本損害保険協会調べ）となっており、<u>現状で安全性は低い</u>と考えている。（福岡市）
③効率的な物流活動を阻害していると感じる	・港、空港間の物流にとって、この区間が渋滞するのは課題があると感じる。当該区間を走行するが<u>渋滞していると回避のため迂回が必要なので速達性に影響</u>がある。（団体：商工会議所） ・<u>渋滞がひどくその分早めに出発しないといけない</u>ため、不便を感じる。渋滞が解消すればその分時間に余裕ができるため、配送スケジュールもたてやすい。（団体：トラック協会） ・博多バイパスは福岡空港や博多港などの広域的な物流拠点や、福岡都市高速道路、九州縦貫自動車道等をつなぐ幹線道路であり、周辺地域には物流関連企業が多数立地している。地元の物流団体等からも対象道路区間の抜本的な渋滞対策を求める声が上がっており、<u>対象道路区間の著しい渋滞により、効率的な物流活動が阻害されている</u>と考えられる。（福岡市）
④救急搬送時、患者への負担を増大させていると感じる	・<u>信号交差点が多く、頻繁に停発進があるので患者への負担が大きい</u>。搬送患者に限らず、運転する職員にも負担がある。時間がかかると負担になる。（団体：消防署） ・対象道路区間は<u>現状の渋滞や信号交差点が多いこと等から、車両の加減速による患者への負担が大きい</u>ため、救急搬送時には極力利用を避けている。また、搬送時は患者のみならず運転する職員にも負担がある。（福岡市）

3-1. 意見聴取の結果（地域の現状と課題） <まとめ>

■意見聴取の結果から、博多バイパス（下臼井～空港口）の交通課題に対する政策目標が妥当であると確認された。

■国道3号博多バイパス（下臼井～空港口）の交通課題について

交通課題	アンケート結果 (全体 n=4,434)	ヒアリング結果
①渋滞	交通渋滞が発生し、日常生活の移動に支障を感じる 78%	・特に朝夕の通勤通学時間帯において著しい渋滞が発生しており、市民の日常生活の移動に支障が生じている ・朝、下臼井→空港口方面は他の時間帯に比べ倍以上の所要時間がかかっている
②事故	交通事故が多く安全性が低いと感じる 55%	・区間内においては交通事故が多く、現状で安全性は低い ・渋滞を避けて細い道に流入するトラックについて危険だという声はあがっている
③産業	効率的な物流活動を阻害していると感じる 68%	・渋滞していると回避のため迂回が必要なので速達性に影響がある ・渋滞がひどくその分早めに出発しないといけないため、不便を感じる
④医療	救急搬送時、患者への負担を増大させていると感じる 72%	・現状の渋滞や信号交差点が多いこと等から、車両の加減速による患者への負担が大きい

■ そう思う ■ ややそう思う ■ あまりそう思わない ■ そう思わない ■ 無回答

□ ○%: 交通課題として認識している割合 ※四捨五入の関係で合計が100%にならない場合がある

政策目標

適切な機能分担による交通環境（渋滞）の改善

走行性の向上による交通安全の確保

速達性・定時性の向上による物流活動の支援

速達性向上による救急医療活動の支援

アンケート・ヒアリング結果からも、第1回計画段階評価で設定した政策目標は妥当である

3-2. 意見聴取の結果(対策案に関すること)

- 政策目標に関連する評価ポイント全6項目について、8割以上が『特に重視すべき』、『やや重視すべき』と回答。
- 特に、「⑥救急搬送の時間が短くなること」については、『特に重視すべき』が対象者別でも約6割と多い。
- 団体・企業からは、「⑩工事中の影響が小さいこと」についても、8割以上が回答。

【質問】次の①～⑪の政策目標に関連する評価ポイントそれぞれについて、4段階評価(1.特に重視すべき 2.やや重視すべき 3.あまり重視すべきではない 4.重視すべきではない)してください。

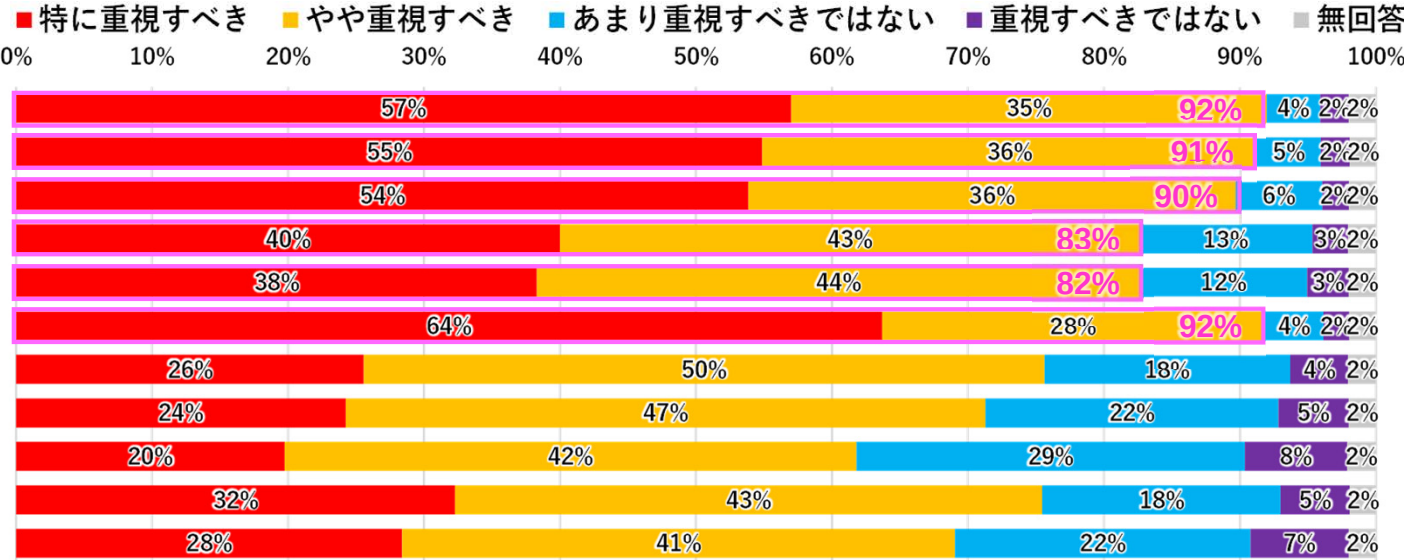
【地域住民・広域的な道路利用者・団体・企業】

n=4,434

政策目標に関連する
評価ポイント

配慮すべき事項

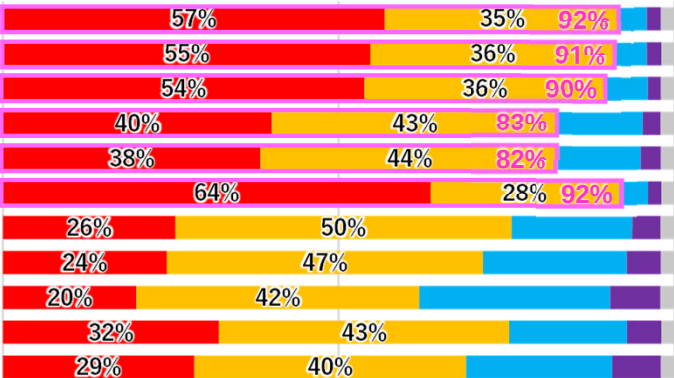
- ①評価対象区間の渋滞が改善すること
- ②「下臼井・新二又瀬橋・空港口」交差点の渋滞が改善すること
- ③交通事故が少なくなり、走行する際の安全性が向上すること
- ④目的地への到着時間が読み易くなること
- ⑤市内の各拠点(博多駅方面や福岡空港等)への利用ができること
- ⑥救急搬送の時間が短くなること
- ⑦道路整備に伴う沿道や家屋等への影響が小さいこと
- ⑧騒音の影響が小さいこと
- ⑨周囲への景観の配慮がなされていること
- ⑩工事中の影響が小さいこと(開通までの時間が早いこと等)
- ⑪道路をつくる費用が安いこと



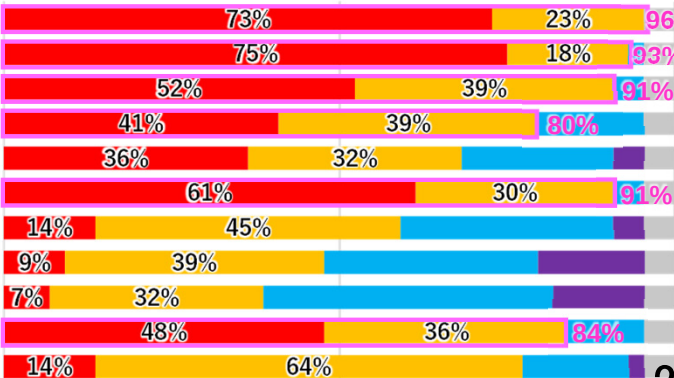
【対象者別割合】

- ①評価対象区間の渋滞が改善すること
- ②「下臼井・新二又瀬橋・空港口」交差点の渋滞が改善すること
- ③交通事故が少なくなり、走行する際の安全性が向上すること
- ④目的地への到着時間が読み易くなること
- ⑤市内の各拠点(博多駅方面や福岡空港等)への利用ができること
- ⑥救急搬送の時間が短くなること
- ⑦道路整備に伴う沿道や家屋等への影響が小さいこと
- ⑧騒音の影響が小さいこと
- ⑨周囲への景観の配慮がなされていること
- ⑩工事中の影響が小さいこと(開通までの時間が早いこと等)
- ⑪道路をつくる費用が安いこと

【地域住民・広域的な道路利用者】n=4,390



【団体・企業】n=44



□ ○% : 意見聴取で重視または配慮すべきとされている上位の項目

※四捨五入の関係で合計が100%にならない場合がある

3-2. 意見聴取の結果（対策案に関すること） <①団体・企業ヒアリング>

- 政策目標では、商工会議所、運輸・郵便業、サービス業等から「渋滞が改善すること」を望む意見があった。
- 配慮すべき事項では、運輸業、商工会議所等から「工事中的影響が小さいこと（開通までの時間が早いこと等）」を望む意見があった。

	重視すべき項目	ヒアリング結果
政策目標	①評価対象区間の渋滞が改善すること	・物流・経済活動を行う上で望ましいから。【団体：商工会議所】 ・渋滞が無くなれば、時間的にも運転手の精神的にもリスクが軽減される。【企業：運輸業・郵便業】 ・整備の早さや安さよりもしっかりしたものをつくってほしい。また、渋滞を改善してスムーズに流れるようにしてほしい。【企業：サービス業】
	②「下臼井・新二又瀬橋・空港口」交差点の渋滞が改善すること	・空港口が非常に混むので部分立体化案のほうがより早く渋滞の解決につながるのよい。【企業：建設業】
	③交通事故が少なくなり、走行する際の安全性が向上すること	・渋滞で通勤に要する時間が増える。それを短くしようとする為に車のスピードの出しすぎ、無理な追い越しなどが多発し、事故を誘発する。【企業：建設業】
	④目的地への到着時間が読み易くなること	・到着時間が制限されている現場への配送は渋滞が発生すると不便になる。【団体：トラック協会】
	⑤市内の各拠点（博多駅方面や福岡空港等）への利用ができること	・福岡空港、博多方面へ向かう場合には立体部を活用することで速達性が向上する。【企業：運輸業・郵便業】 ・この区間の事故が多いので、重視すべきだと思う。空港、博多駅方面へのアクセス性は大事。【企業：製造業】 ・全線立体化するよりも部分立体化で各交差点からのアクセス性を保つほうが良い。空港口から博多方面、二又瀬から吉塚方面への移動は業務でたまにある。【企業：その他】
	⑥救急搬送の時間が短くなること	・立体化によりバイパスの渋滞が解消され、より患者への負担が少なく搬送できるようになることに期待している。【団体：消防署】
配慮すべき事項	⑦道路整備に伴う沿道や家屋等への影響が小さいこと	・対象区間に会社やお店があるので、影響は少ない方がいい。【企業：卸売・小売業】
	⑧騒音の影響が小さいこと	・空港関連の騒音が既にあるのであまり重視する必要はない。【企業：卸売・小売業】
	⑨周囲への景観の配慮がなされていること	—
	⑩工事中的影響が小さいこと（開通までの時間が早いこと等）	・金額よりも開通までの工期が早くなることを重要視すべき。時間が早くなるということは、結果的に金銭的な見返りも大きくなる。【企業：運輸業・郵便業】 ・物流や経済活動へ支障が出るまでは言わないが阻害要因は排除していただきたい。工事による車線規制の期間は短くしてほしい。【団体：商工会議所】 ・工事後の渋滞改善は当然ですが、工事期間中の渋滞や生活道路への迂回車両や通学路の車両増加が気になる。【企業：運輸業・郵便業】
	⑪道路をつくる費用が安いこと	・税金なので無駄に使わないように配慮する必要がある。【企業：卸売・小売業】
その他意見	—	・高架道路を造る際には、案内標識や路面標示などで高架区間と平面区間について分かりやすく案内して欲しい。【企業：製造業】 ・小売店など地域経済への配慮についても適切に対応してほしい。【企業：サービス業】

3-2. 意見聴取の結果（対策案に関すること） <②自治体ヒアリング>

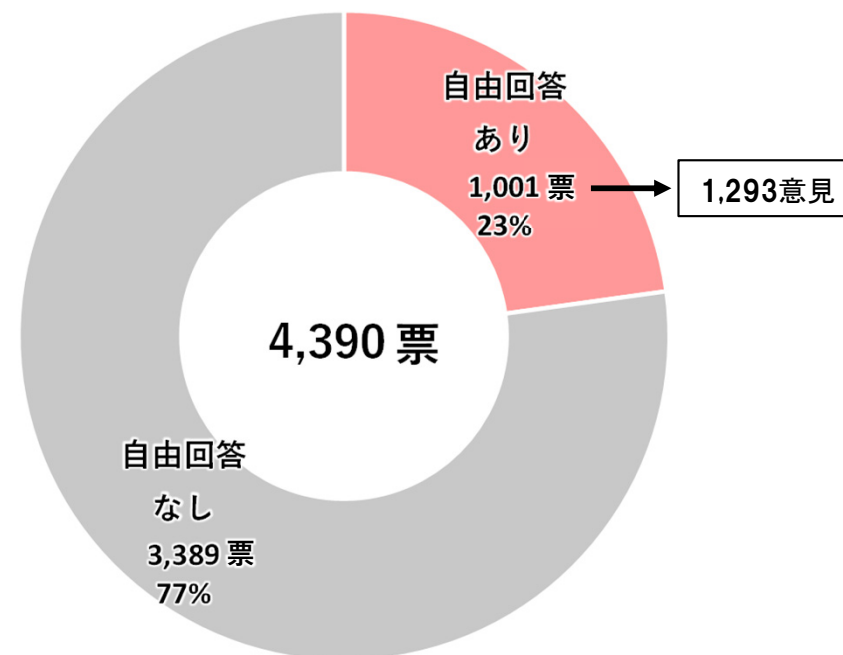
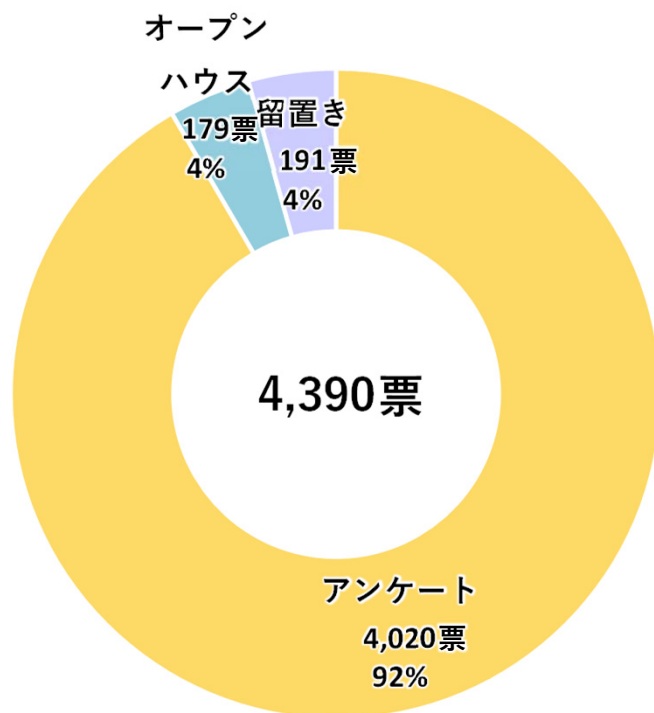
■自治体（福岡市）へのヒアリング結果

	重視すべき項目	ヒアリング結果
政策目標	①評価対象区間の渋滞が改善すること	・渋滞による市民生活や物流などの影響を最小限とするため、対象道路区間の立体化による抜本的な渋滞対策が必要。
	②「下臼井・新二又瀬橋・空港口」交差点の渋滞が改善すること	・対象道路区間と交差する空港通りや県道福岡篠栗線等においても慢性的に渋滞しているため、対象道路区間の立体化による抜本的な渋滞対策が必要。
	③交通事故が少なくなり、走行する際の安全性が向上すること	・対象道路区間の立体化によりバイパスの通過交通を立体部に転換するとともに、平面部の交差点についても、安全性が確保できるよう十分配慮することが必要。
	④目的地への到着時間が読み易くなること	・市民の通勤通学や企業活動における移動等の観点から、対象道路区間の立体化による渋滞解消により、定時性の向上が必要。
	⑤市内の各拠点（博多駅方面や福岡空港等）への利用ができること	・博多駅方面や福岡空港等に向かう場合でも、下臼井交差点や新二又瀬橋交差点等の交差点が連続した区間を立体部で通過できるよう、案①が望ましいと考える。
	⑥救急搬送の時間が短くなること	・対象道路区間の立体化により、走行性向上と時間短縮が図られることで、済生会病院等への救急搬送が安全かつ早くなることが望ましい。
配慮すべき事項	⑦道路整備に伴う沿道や家屋等への影響が小さいこと	・沿道への影響は可能な限り小さい方が望ましい。
	⑧騒音の影響が小さいこと	・道路の整備によりやむを得ず騒音が一部悪化する場合、必要に応じて遮音壁を設置する等、影響が最小限となるよう対策をご検討いただきたい。
	⑨周囲への景観の配慮がなされていること	・本地域で一定規模以上の高架道路を整備する場合、景観法に基づく届出の対象となるため、構造物の色彩等のデザインについて配慮が必要である。
	⑩工事中の影響が小さいこと（開通までの時間が早いこと等）	・令和7年3月末予定の福岡空港滑走路増設事業完了後、更なる交通需要の増加が見込まれるため、部分開通等による早期供用が可能な案①が望ましい。
	⑪道路をつくる費用が安いこと	・事業費が安価となる案①が望ましいと考えており、今後の詳細な検討においては、更なるコスト削減をご検討いただきたい。

3-3. 意見聴取で寄せられた自由意見 <自由意見の回収状況>

■意見聴取において、アンケート4,020票、オープンハウス179票、留置き191票、全4,390票の回収を行った。このうち、自由意見として1,001票(1,293意見)の意見が寄せられた。

【意見聴取の回収状況】



※四捨五入の関係で合計が100%にならない場合がある

3-3. 意見聴取で寄せられた自由意見 <対策案について(政策目標)>

評価項目		評価ポイント ＜意見聴取＞	自由意見
政策目標	【渋滞】適切な機能分担による交通環境の改善	①評価対象区間の渋滞が改善すること	・費用、工期主要拠点への速達性から結論は案1が優位であり、交差点の渋滞により空港口立体化区間への影響が懸念される。空港口交差点の空港通り側をアンダーパス化して、交差点への流量を減らすなど、博多バイパスだけでなく複合的に対応がベターと考えます。 ・案②全線立体化案が望ましいと思います。なぜなら案①部分立体化案では、立体化区間と平面区間の合流部(2ヶ所)に渋滞が起こる恐れがあるからです。 ・登り坂は車のスピードが落ちて渋滞しやすくなるので登り坂が二ヶ所できる案1よりも案2のほうが良いと思う。 ・この区間では、空港口と新二又瀬交差点での右左折車による渋滞が特にひどいため、案②全線立体化案では、かえって渋滞(同交差点地上部での)がひどくなる。一旦、平面区間を設ける案①の方が、円滑な交差点交通処理に有効だと思う。コストも安い。 ・渋滞で心理的にもストレスがたまるため、早期に立体化(一部でも)を進めてほしい。
		②「下臼井・新二又瀬橋・空港口」交差点の渋滞が改善すること	・空港口から二又瀬まで片側三車線の道路ですが、夕方は16時頃から渋滞が始まり、二又瀬橋交差点を抜けるのに10分程掛かる時があります。これは、大井1丁目交差点と新二又瀬橋交差点が短い距離にもかかわらず、大きな交差点であるのが理由だと思います。 ・幹線道路の信号交差点は、渋滞ポイントとなりがちなので、立体化が可能であれば、計画的に連続して整備していくことが必要だと考えます。
	【事故】走行性の向上による交通安全の確保	③交通事故が少なくなり、走行する際の安全性が向上すること	・仮に部分立体交差で事業決定した場合の、300mの平面部での交差対策(地上→高架、高架→地上への交通車両の交差)は対策を講じてほしい。 ・部分立体化案が良いと考えたが、平面区間での合流渋滞が起きるように思われる。スムーズな出入りをどのように考えられているのか？その対策を教えて欲しい。
	【物流】速達性・定時性の向上による物流活動の支援	④目的地への到着時間が読み易くなること	・特に空港に行く必要がある時、時間がよめなくて困っている。改善してもらえるとありがたい。
		⑤市内の各拠点(博多駅方面や福岡空港等)への利用ができること	・出張でよく博多駅や空港を利用します。ラッシュ時に博多バイパスを通らざるをえない場合は時間に余裕をもっていくようにしています。それでも渋滞が酷すぎてギリギリのこともあります。博多駅、空港への利用がしやすい部分立体化がベターだと思います。 ・案2だと空港、博多駅だけでなく、周辺商業施設利用の際に活用できない。周辺商業施設の経営に与える影響も大きいと思う。また、案1の平面区間は新二又瀬橋交差点よりも東区側(くら寿司辺り)にした方が利便性は高いと思う。 ・全線立体化して博多駅、空港、国道3号、高速道路等、アクセスがスムーズになると良い。 ・都市高速の空港内延伸の計画もあると聞いているが、実現すれば博多駅側→空港のアクセスは大幅な改善が期待できる。コスト次第ではあるが、全線高架化する場合、東行のハーフランプを設置すれば案1で期待されている香椎側→空港、博多方面の利便性も期待できる。
	【医療】速達性向上による救急医療活動の支援	⑥救急搬送の時間が短くなること	・新しく立体にした道路は一般車両と物流車両とに分ける。消防車両・救急車両のレーンを決める(案①だと今まで使用していた平面の通路)。

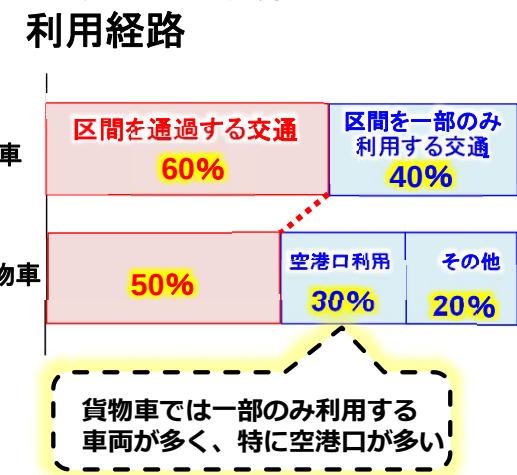
3-3. 意見聴取で寄せられた自由意見 <対策案について(配慮すべき事項)>

評価項目		評価 ＜意見聴取＞	自由意見
配慮すべき事項	沿道や家屋等への影響	⑦道路整備に伴う沿道や家屋等への影響が小さいこと	・本事業も含めて、用地買収、施工時の借地、地元住民の工事への理解(協力)、支障物件(占用物件)の事前調査及び移設等々事前準備を行い、問題ない早期施工をお願いします。
	生活環境への配慮	⑧騒音の影響が小さいこと	・事業地周辺は空港用地と物流関連企業の緩衝緑地が多く、騒音などへの配慮はかなり柔軟に対応、すなわち投下資本を抑制できると考える。
	景観への配慮	⑨周囲への景観の配慮がなされていること	・高架道路のデザイン重視をお願いします。空港周辺の環境にあわせ末永く使用するため。
	工事中的影響・事業期間	⑩工事中的影響が小さいこと(開通までの時間が早いこと等)	・物理的には案2が良いが、工事費圧縮・工期短縮を重視すると、「案1とすべき」と考えます。 ・部分立体でスピード感をもって取り組んで欲しい。 ・工事中的の交通規制などの問題を考慮しても(案②)が良いと思う。 ・案1でも信号が無くなるので所要時間はさほど変わらないかと思いますのでより工期の短い案1派です。
	経済性	⑪道路をつくる費用が安いこと	・案①も②も大きく変わらないので、早く施工に移すべき。コスト・利便性などトータルでは①のが現実的。何年この状態が続いているのかを考えれば早期に解消が1番。 ・部分立体化案の方が、工事費用やアクセスのし易さなどいい面が多かったです。 ・物理的には案2が良いが、工事費圧縮・工期短縮を重視すると、「案1とすべき」と考えます。 ・費用が安価で作業時間も短い案1で工事の方が望ましい。 ・対象区間を通る時は、博多駅の献血センターへ行くくらいですので、①案がうれしいです。何より安くすむ事がイチバン。 ・空港・博多方面への利用の方は多いと思います。 ・①部分立体化案は費用対効果が低すぎるので、断固反対。
その他意見			・この区間を連続直進で利用します。区間により速い車線が異なり、急ぐ交通が車線変更を行うために危険性も感じていました。かなりの交通が連続直進を行っていると感じますので、安全性の観点からも完全立体交差が望ましいと感じます。

3-4. 意見聴取を踏まえた課題の再整理 <物流活動の支援>

- 評価対象区間付近には福岡空港や博多駅付近の商業エリアが存在しており、空港口交差点を利用する貨物交通が多い。
- 空港への配送では時間指定があるため配送時間の速達性・定時性が重要であるが、現状は渋滞による配送時間の増加、時間の読みにくさなど円滑な物流活動に支障が発生している。
- そのため、対策案については、福岡空港・博多駅へのアクセス性に配慮した計画とする必要がある。

◆対象区間の貨物車の利用経路 ◆空港口交差点に北側から流入する貨物車の出発エリア ◆ヒアリング先一覧 (※全18社調査のうち一部抜粋)



下臼井⇒空港口を右折し市街地方面へ向かう貨物車

事業所名	特徴
A社	百貨店や大型商業施設への納品を得意とする
B社	生鮮品チルド輸送や食材輸送を航空搭載・トラック輸送

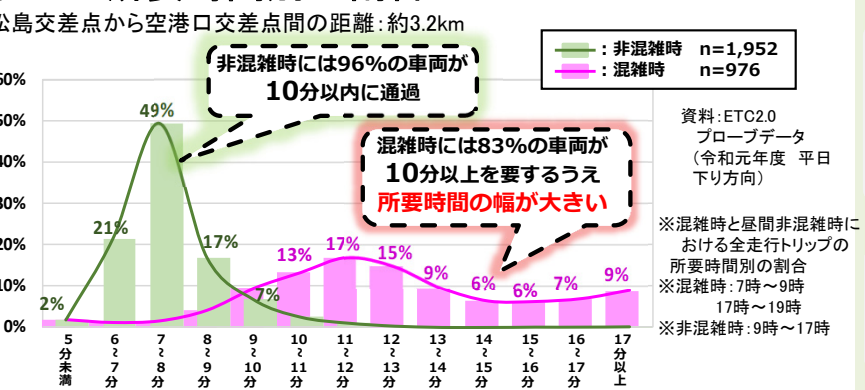
下臼井⇒空港口を左折し空港方面へ向かう貨物車

事業所名	特徴
C社	食品輸送が得意、長距離輸送を主力に、鮮度にこだわり
D社	冷凍・冷蔵・ドライの様々な生鮮食品や加工食品輸送、航空輸送に対応

下臼井⇒空港口を直進する貨物車

事業所名	特徴
E社	精密機器輸送のプロ【運送品目】半導体製造装置、大型精密機械
F社	プリント基板製造

◆松島交差点から空港口交差点までの所要時間別の割合



<農業団体>

- ・空輸のため福岡空港に配送しており、博多BPの渋滞を考慮し、余裕時間を取って搬送している。
- ・余裕時間を取る分、農家からJA撰果場への生産品の持ち込み時間が制限され、出荷量が減少する場合がある。
- ・渋滞による遅延が酷い場合は、空港便に間に合わないことがあり、翌日搬送となった時は、出荷品の値段は半値に落ち、生産者の大きな負担を強いられる。

<事業所 (A社)>

- ・福岡IC付近の物流センターから博多駅周辺の複数の百貨店に配送しており、毎日10台程度が空港口交差点を利用している
- ・百貨店への納入は時間指定があるが、特に午前中の納品は朝ピークの渋滞に巻き込まれて時間がかかるうえ、到着時間が読みづらく、困っている状況である。

<事業所 (B社)>

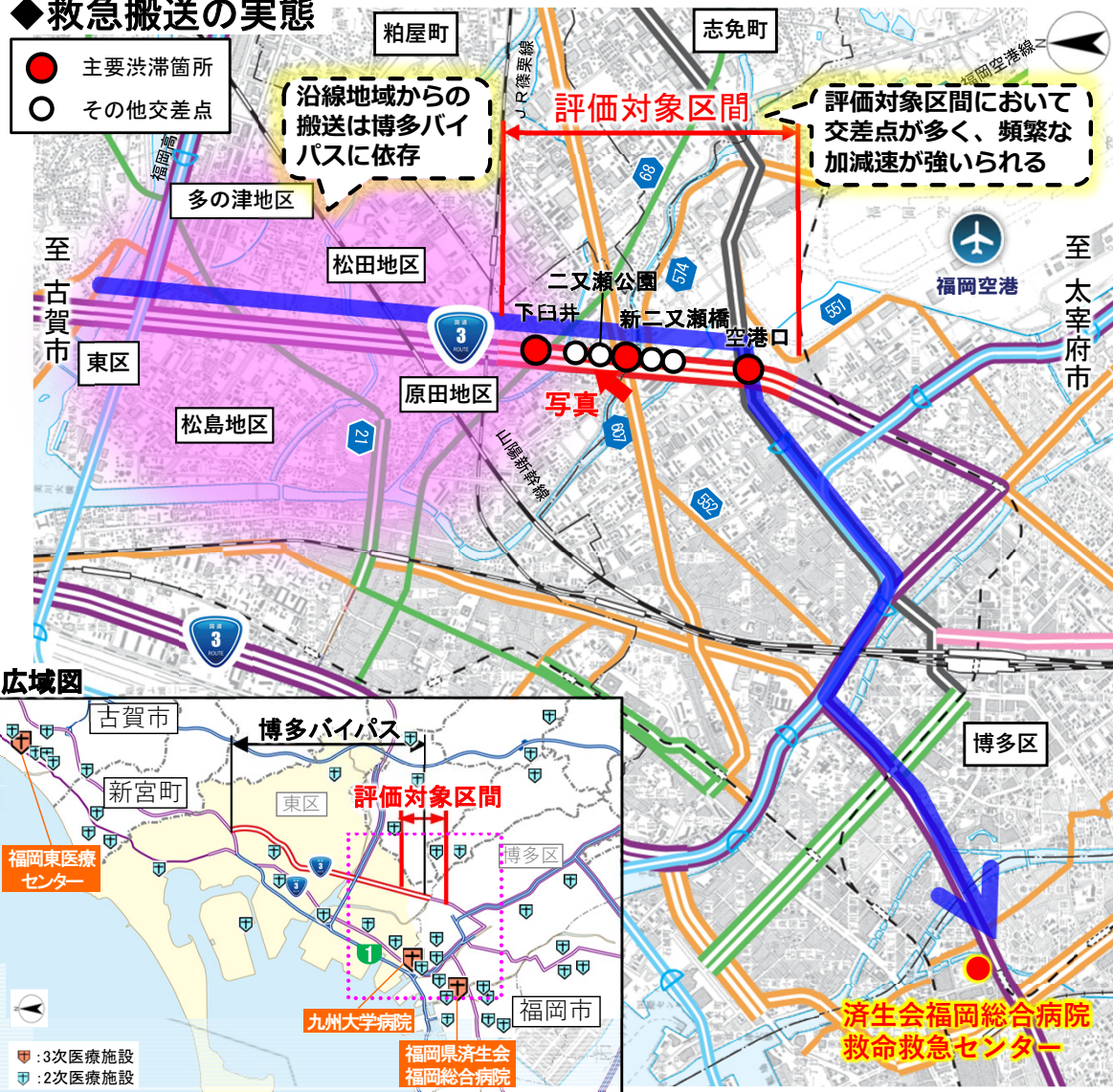
- ・博多バイパスは沢山利用しており、ドライ貨物を輸送している。
- ・航空関連貨物は時間の締め切りがあるため、渋滞している朝夕は裏道を利用している。

3-4. 意見聴取を踏まえた課題の再整理

＜救急医療活動の支援＞

- 評価対象区間沿線地域では年間約3万件の救急搬送が行われており、評価対象区間の北側に位置する4地区(多の津・松田・松島・原田)からの3次救急医療施設への搬送は、博多バイパスの空港口交差点から右折する救急搬送ルートとなっている。
- 評価対象区間は信号交差点が多く、渋滞が酷いため、頻繁な加減速及び搬送時間の遅延による患者への負担が大きい。
- そのため、対策案については、博多駅方面へのアクセス性に配慮した渋滞対策とする必要がある。

◆救急搬送の実態



◆沿線地域の救急搬送の実態

(沿線地域における救急搬送件数の推移)

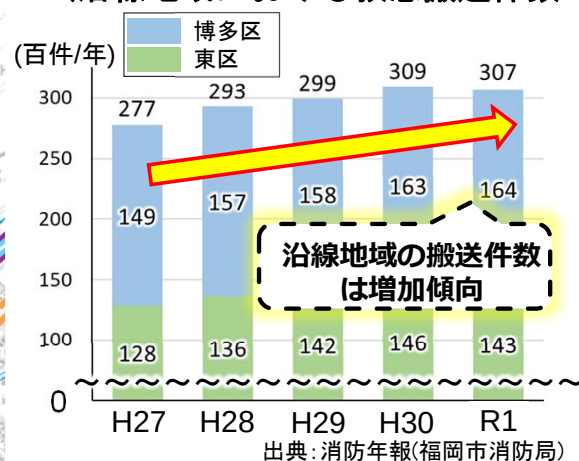
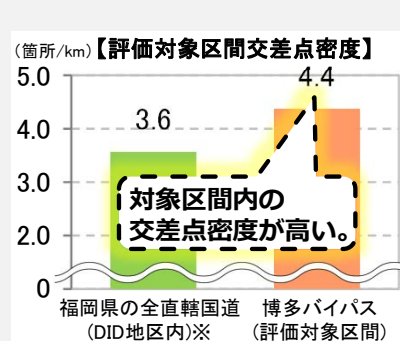


写真 (R3.8撮影)



＜東区消防署＞

- ・博多バイパスは救急搬送における重要な道路である。特に松島、松田付近の沿線地域からの搬送は博多バイパスを利用する。毎月約10回利用している。
- ・患者の容体によって、高度設備を備えている済生会福岡総合病院しか対応できない場合があり、搬送する時には空港口交差点を利用している。



・通常は最短時間ルートで搬送するが、博多バイパスは渋滞がひどく、最短時間ではないため、利用を避けることがある。

・搬送時間が読みづらいことに加え、信号交差点が多く、頻繁な加減速により患者への負担が大きい。

・バイパスの渋滞が解消され、患者への負担が少なく搬送できるようになることに期待している。

※意見聴取結果より抜粋

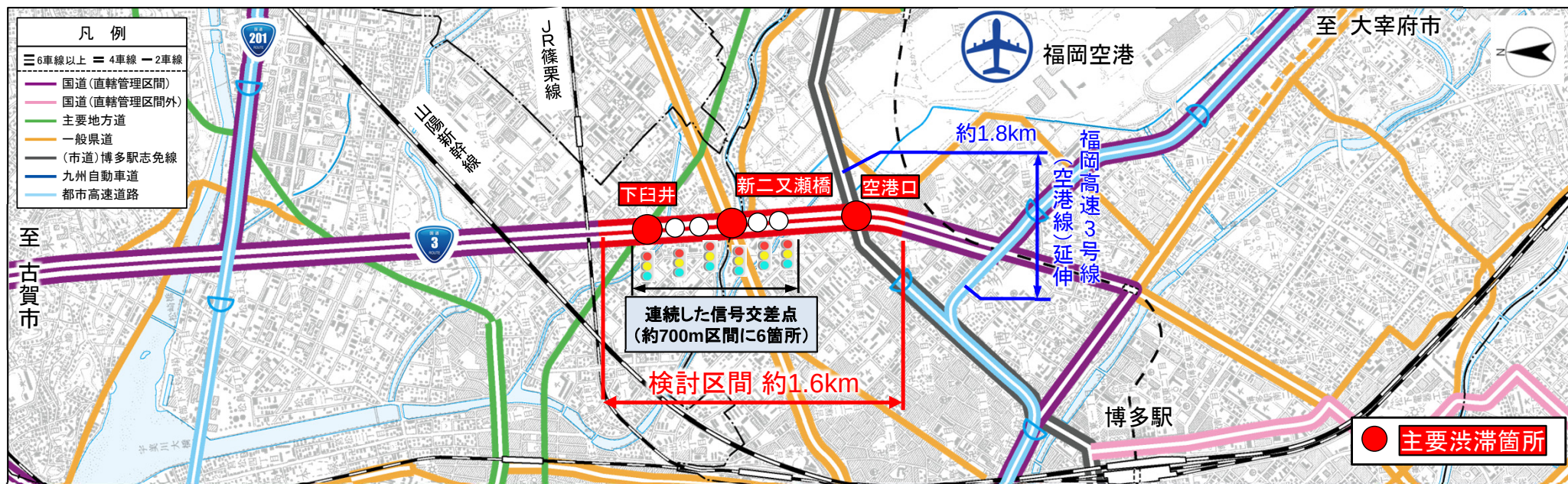
資料：平成27年度全国道路・街路交通情勢調査
※福岡県の全直轄国道(DID地区内)は博多パイ
パス区間を含めたDID地域内の全区間である

4. 対応方針(案)の検討

4. 対応方針(案)の検討 <複数案の比較>

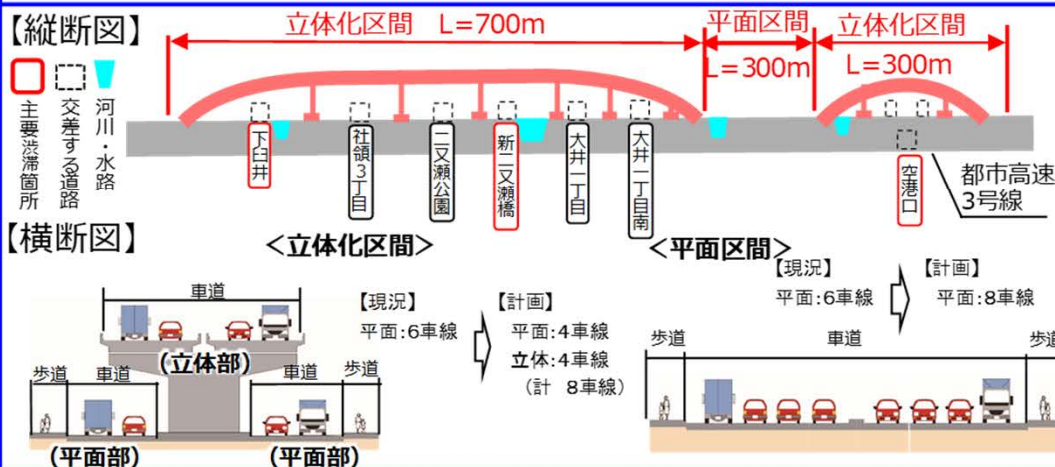
■【案①】部分立体化案: 平面部との接続区間を設けて、博多駅・福岡空港等各方面への利用を重視した案。

■【案②】全体立体化案: 全線立体で整備し、通過交通の走行性を重視した案。



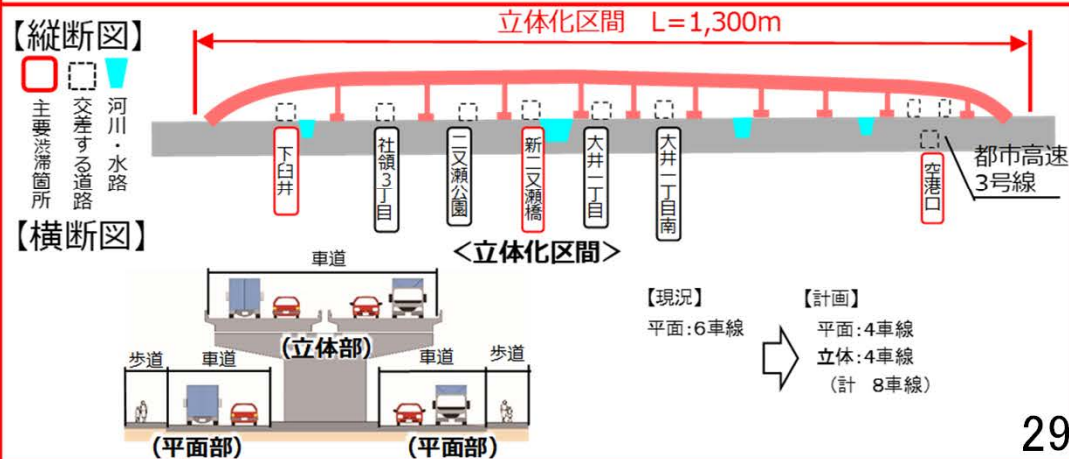
【案①】部分立体化案

平面部との接続区間を設けて、博多駅・福岡空港等各方面への利用を重視した案



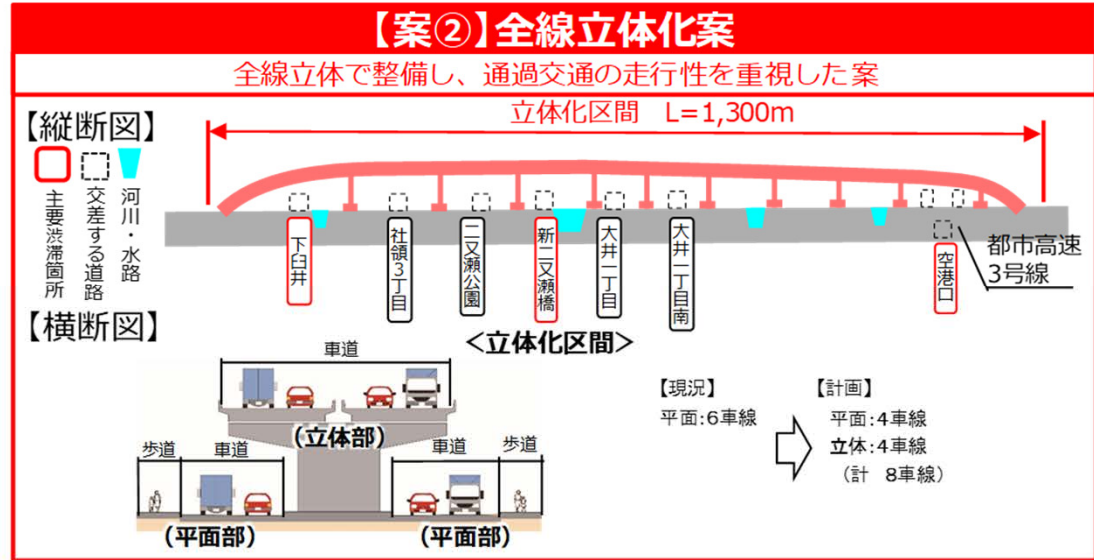
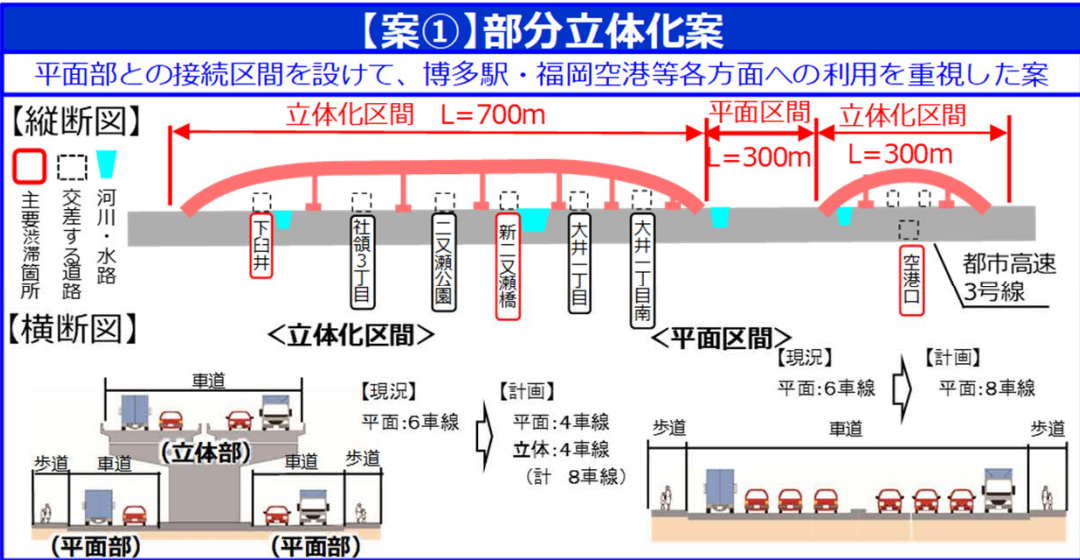
【案②】全線立体化案

全線立体で整備し、通過交通の走行性を重視した案



4. 対応方針(案)の検討 <複数案の比較>

- 『【案①】部分立体化案』は、全ての政策目標の達成が見込めるほか、配慮すべき事項については、相対的に『【案②】全線立体化案』より、『【案①】部分立体化案』が優れている。
- 意見聴取においても、全項目で6割以上が重視すべきと回答があり、地域のニーズに応えられていることから、『【案①】部分立体化案』を対応方針(案)とする。

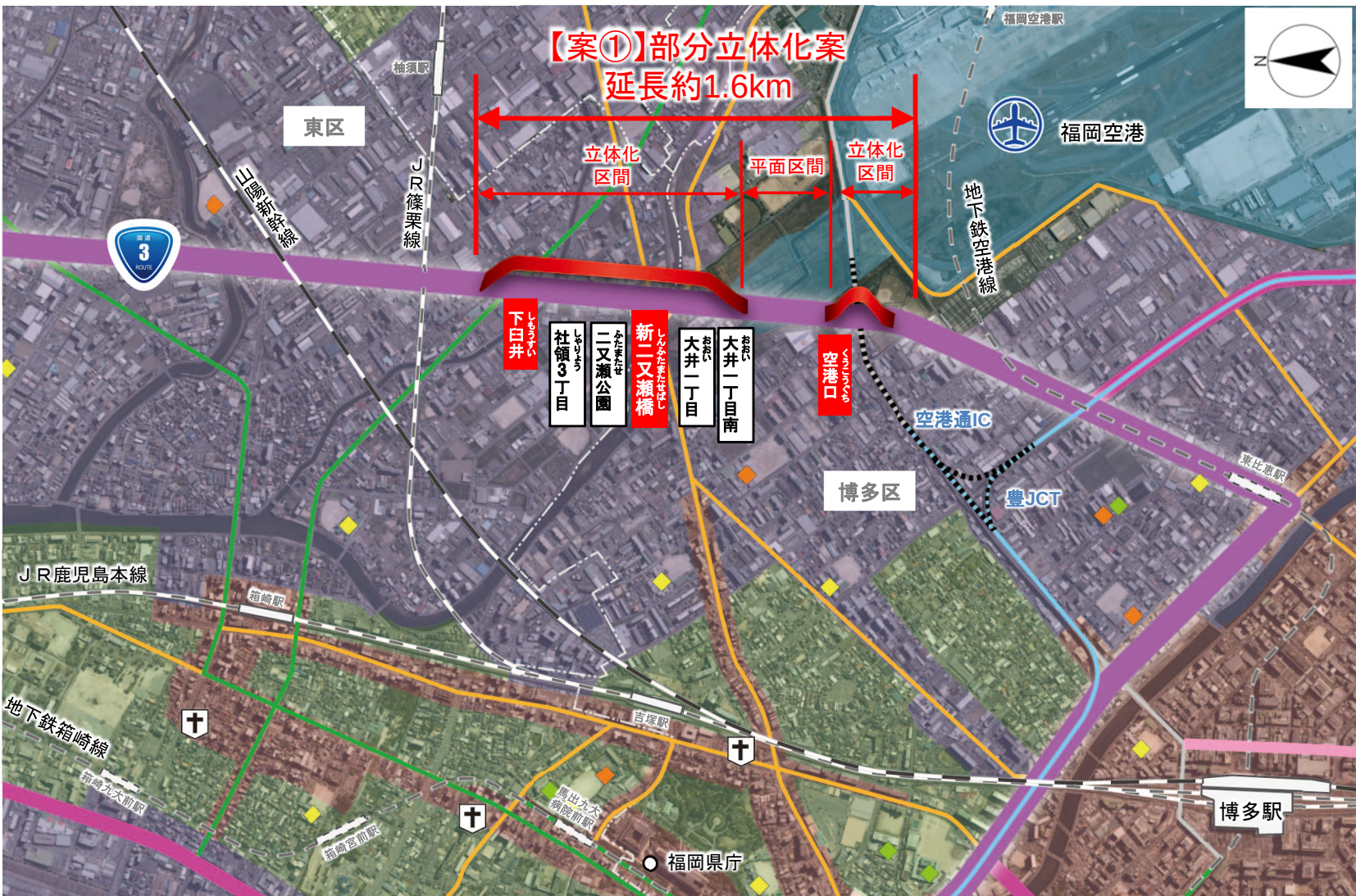


評価項目		評価ポイント	【案①】部分立体化案		【案②】全線立体化案	
政策目標	【渋滞】適切な機能分担による交通環境の改善	① 対象区間の旅行速度	○	・連続した交差点の立体化により、通過交通が立体部に転換するため交通混雑が緩和する	○	・連続した交差点の立体化により、通過交通が立体部に転換するため交通混雑が緩和する
		② 主要渋滞箇所の渋滞緩和	○	・主要渋滞箇所(交差点部)の立体化により、通過交通が立体部に転換されるため渋滞が緩和する	○	・主要渋滞箇所(交差点部)の立体化により、通過交通が立体部に転換されるため渋滞が緩和する
	【事故】走行性の向上による交通安全の確保	③ 主要渋滞箇所の交通事故減少	○	・主要渋滞箇所(交差点部)の立体化により、通過交通が立体部に転換されるため交通事故は減少する	○	・主要渋滞箇所(交差点部)の立体化により、通過交通が立体部に転換されるため交通事故は減少する
		④ 輸送時間の定時性の向上	○	・立体化により、信号交差点を通過しなくなるため、時間信頼性が向上する 【信号交差点を通過する数 現況 7箇所 ⇒ 整備後 0箇所】	○	・立体化により、信号交差点を通過しなくなるため、時間信頼性が向上する 【信号交差点を通過する数 現況 7箇所 ⇒ 整備後 0箇所】
	【物流】速達性・定時性の向上による物流活動の支援	⑤ 主要拠点(福岡空港、博多駅方面)への速達性向上	○	・交通混雑が緩和され走行速度が向上し、主要拠点(福岡空港、博多方面)へ向かう場合には立体部を活用することで速達性が向上する	△	・交通混雑が緩和され走行速度が向上するが、主要拠点(福岡空港、博多方面)へ向かう場合の経路は現状と同じく、平面部の信号交差点を通過する必要がある
		⑥ 緊急搬送の速達性の向上	○	・交通混雑が緩和されるため救急搬送時の速達性が向上し、第三次医療施設への搬送時間の10分圏域範囲が拡大する	○	・交通混雑が緩和されるため救急搬送時の速達性が向上し、第三次医療施設への搬送時間の10分圏域範囲が拡大する
配慮すべき事項	沿道や家屋等への影響	⑦ 沿道施設や家屋等の移転などが少ない	△	・大井一丁目南交差点と空港口交差点の間に平面部を設けるため沿道施設への影響範囲は案②よりも大きい	○	・沿道施設への影響範囲は小さい
	生活環境への配慮	⑧ 沿道環境(騒音)が悪化しない	△	・道路整備により騒音は現況より一部悪化する	△	・道路整備により騒音は現況より一部悪化する
	景観への配慮	⑨ 眺望の阻害範囲が小さい	△	・部分立体化構造となるため、現況と比べて悪化する	×	・全線立体化構造となるため、現況と比べて最も悪化する
	工事中の影響・事業期間	⑩ 工事期間と規制範囲、開通までの期間	○	・部分的に空港口立体化区間の開通が可能であり、工事期間も案②より短い	×	・全線で立体化構造とする整備のため、全線開通までの工事期間が長い
	経済性	⑪ 事業費	○	300~360億円	×	370~450億円

4. 対応方針(案)の検討 <対策案の位置>

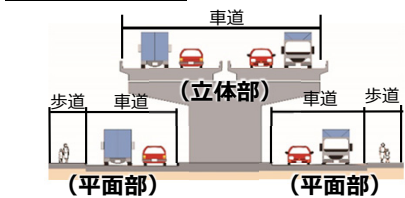
【対策案の考え方】

■博多駅や福岡空港方面へのアクセス性が優れる部分立体構造にすることで、現道の渋滞・事故に対する課題解決や産業物流拠点の速達性向上及び救急医療活動の支援を図るとともに、工事中の交通規制の影響を最小限に考慮した対策。



【横断面図】

<立体化区間>



<平面区間>



【凡例】

道路の構造等

- 【案①】部分立体案
- 交差点 主要渋滞箇所
- 交差点 交差点

施設	用途地域
小学校	住居系
中学校	商業系
高校、大学	工業系
二次・三次救急医療機関	

【凡例】

- 都市高速道路
- 都市高速道路(空港線)
- 国道(直轄管理区間)
- 主要地方道
- 一般県道
- (市道)博多駅志免線

出典: (c)NTTインフラネット

5. 自治体への意見照会

5. 自治体への意見照会(対応方針(案))に対する自治体意見

■意見照会の回答(要旨)

自治体名	意 見
福岡市	1. 博多バイパス(下臼井～空港口)における九州地方整備局としての対応方針(素案)に同意いたします。 2. 本評価対象区間は、平成30年3月の博多バイパス全線開通に伴い利便性の向上や周辺からの利用増加により混雑が顕著となり、現在、市民の日常生活における移動や、物流、救急搬送等に支障が生じております。 3. また、今後の福岡空港の機能強化に伴い、更なる交通需要の増加も見込まれていることから、今年度事業着手した福岡高速3号線(空港線)延伸事業との相乗的な効果により博多バイパスや周辺道路の混雑緩和を図るため、早期事業化に向けた特段のご配慮をお願いいたします。 4. なお、事業を円滑に進めるためには、沿線を含む周辺地域住民の十分な理解が必要であることから、本市としましても、事業効果の早期発現に向けて、必要な協力を行ってまいりたいと考えております。

■意見照会の回答(福岡市長)

(公印省略) 道計第47-001号 令和3年 9月10日 国土交通省 九州地方整備局長 藤巻 浩之 様 福岡市長 高島 宗一郎 (道路下水道局 計画部 道路計画課) 道路事業の計画段階評価に係る意見照会について (回答) 平素より福岡市の道路行政に格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。 さて、令和3年9月9日付国九整道一計第29号で意見照会をいただきました国道3号博多バイパス(下臼井～空港口)の対応方針(素案)につきまして、下記のとおり本市意見を回答いたします。 記 博多バイパス(下臼井～空港口)における九州地方整備局としての対応方針(素案)に同意いたします。 本評価対象区間は、平成30年3月の博多バイパス全線開通に伴い利便性の向上や周辺からの利用増加により混雑が顕著となり、現在、市民の日常生活における移動や、物流、救急搬送等に支障が生じております。また、今後の福岡空港の機能強化に伴い、更なる交通需要の増加も見込まれていることから、今年度事業着手した福岡高速3号線(空港線)延伸事業との相乗的な効果により博多バイパスや周辺道路の混雑緩和を図るため、早期事業化に向けた特段のご配慮をお願いいたします。 なお、事業を円滑に進めるためには、沿線を含む周辺地域住民の十分な理解が必要であることから、本市としましても、事業効果の早期発現に向けて、必要な協力を行ってまいりたいと考えております。

6. 対応方針(案)のまとめ

6. 対応方針(案)のまとめ

1. 道路整備の必要性

【理由】

政策目標を実現できる道路整備を検討

【政策目標】

- ◇適切な機能分担による交通環境(渋滞)の改善
- ◇走行性の向上による交通安全の確保
- ◇速達性・定時性の向上による物流活動の支援
- ◇速達性向上による救急医療活動の支援

○対象地域は、国道3号博多バイパスの渋滞や事故危険性の高さ、物流拠点へアクセス性の阻害、救急搬送における搬送時間の遅延が課題であり、適切な機能分担による混雑緩和、交通事故の減少、円滑かつ安定した物流活動及び主要拠点へのアクセス性の確保、円滑な救急搬送を支援する道路の整備が必要。

○住民アンケートや団体・企業ヒアリングにおいても、対象区間及び交差点の渋滞の改善、走行安全性の向上、主要拠点までの定時性・速達性の向上、救急搬送の時間短縮が必要という意見が多く、このような政策目標を実現できる道路が望まれている。

2. 対応方針(案)

■対策案について

『【案①】部分立体化案』を対応方針(案)とする。

【理由】

○『【案①】部分立体化案』は、『【案②】全線立体化案』と比べて、全ての政策目標の達成が見込まれる。

○地域の意見聴取において重視すべきと回答が多かった、「①評価対象区間の渋滞が改善すること」、「②「下臼井・新二又瀬橋・空港口」交差点の渋滞が改善すること」、「③交通事故が少なくなり、走行する際の安全性が向上すること」、「④目的地への到着時間が読み易くなること」、「⑤市内の各拠点(博多駅方面や福岡空港等)への利用ができること」、「⑥救急搬送の時間が短くなること」の項目についても、『【案①】部分立体化案』は優れており、地域のニーズにも応えられている。

○道路整備における配慮すべき事項に関して、「工事中の影響・事業期間」、「経済性」については、『【案②】』に比べて、『【案①】』が優れている。

○自治体からは政策目標の渋滞改善、事故削減の視点から対策を望む意見のほか、博多駅方面や福岡空港等への利便性向上が図れ、部分開通による早期供用が可能かつ事業費が安価となる『【案①】』を望む意見が挙げられている。

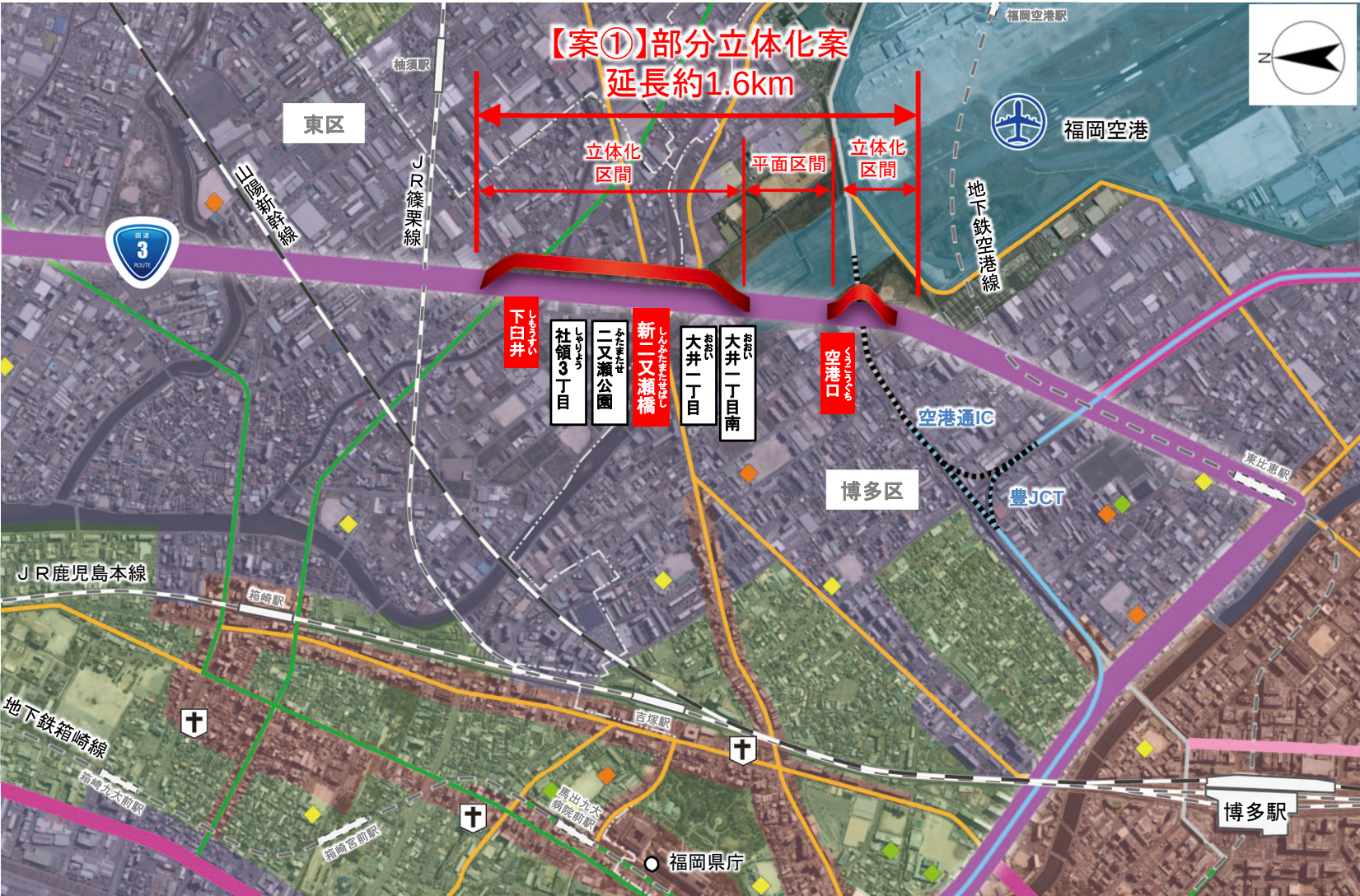
○比較評価の結果、『【案①】』は意見聴取結果にて重視されている全ての政策目標の達成が見込めるほか、配慮すべき事項についても、相対的に『【案②】』より優れている。

3. その他(配慮すべき事項等)

○具体的な道路構造の検討に際し、沿道や家屋等への影響、生活環境への影響、景観、事業費・維持管理費の縮減等にも配慮する。

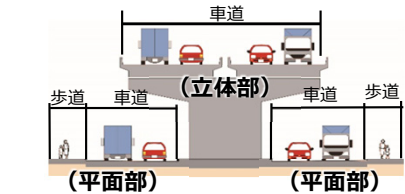
6. 対応方針(案)のまとめ

■博多駅や福岡空港方面への利便性に優れ、現道の渋滞・事故に対する課題解決や産業物流拠点の速達性向上及び救急医療活動の支援を図るとともに、工事中の交通規制の影響を最小限に考慮した【案①】部分立体化案とする。



【横断面】

＜立体化区間＞



＜平面区間＞



【凡例】

道路の構造等

【案①】部分立体案

交差点 主要渋滞箇所

交差点 交差点

施設

用途地域

小学校

中学校

高校、大学

二次・三次救急医療機関

住居系

商業系

工業系

【凡例】

都市高速道路

都市高速道路(空港線)

国道(直轄管理区間)

主要地方道

一般県道

(市道)博多駅志免線

出典:(c)NTTインフラネット